



# このはつうしん

象や気候の影響を大きく受けるものだと実感しました。

今年も例年より早く稲の生育が農業者は大変な状況です。



あきる野市菅生の地で取り組む四季折々の体験学習「ゆたか」の情報を発信。感じよう、里山！

## 「稲刈り実習」

東海大学藤吉研究室の学生さん達と一緒に、伊勢原の水田にて酒米「五百万石」の稲刈りを行ってきました。



今年も記録的猛暑でしたが、東海教育産業の勝見さんによると稲の生育にも違いがありました。通常は穂が出て約45日ほど実るところが、暑さのために約35日ほどの日数で実ったそうです。

また今年はいつもと違う点がもう一つありました。水田周辺にコオイムシが多く見られたことです。コオイムシはオスが卵塊を背中に背負って外敵から守るといふ、とても珍しい習性を持つ水生昆虫です。勝見さんによると、この10年程でコオイムシは一度しか見たことがなかったそうです。

希少な生き物のため、よく観察した後にともいいた場所に帰しました。



汗ばむ陽気の中、稲を干す「はぜ掛け」まで、約2時間で作業を終えました。収穫したお米は来年の10月には特別純米原酒「魂乃鼓（たまのつづみ）」になります。

藤吉先生、東海教育産業の皆様、ありがとうございました。



### コオイムシ

体長2cmほど。小魚やモノアラガイなどの貝類を捕食する。沖縄を除く31都道府県で絶滅危惧種に指定。

ゆたか委員会児童がコオイムシについてまとめた「ゆたか新聞」が各教室に掲示してあります。ご来校の際はぜひご覧ください。

## 「稲刈り」5年生



菅生町内会の野口さんご指導のもと、菅生ファームでも稲刈りが行われました。のこぎり鎌という、刃がギザギザになった鎌を使うことで、滑らず安全に刈り取ります。次に2つの束をXになるようにして、交差している茎の箇所を固く縛ります。こうすることで子どもでも簡単に「はぜ掛け」用の稲束をつくることができます。



子ども達がつくったカカシが見守る中、無事に稲を刈り終えました。

## イベント情報

★12/16(土) スツガニア-Christmas- ~Let's make a Christmas cake!~

英語を交えながら、親子で楽しくクリスマスケーキをつくります！  
お申込みは本校ホームページの「予約申し込み」より受け付けております。《年中児対象》